

CYRICにおける共同利用者の 従事者管理

東北大学CYRIC
放射線取扱主任者
結城 秀行

CYRICの外部からの利用者が必要な手続き

CYRICには、他大学や研究機関、企業などから、様々な分野の研究者が、不定期に実験に来ている。

1. 『放射線業務従事者証明書及び所外における作業承認書』の提出

この書類で被ばく歴、初期教育訓練受講状況、電離放射線健康診断受診状況などを確認する。

2. CYRICの教育訓練の受講

CYRIC放射線障害予防規程(30分)など。

放射線従事者及所おの般線業書

東北学ⅩⅥラジオイメヂセタ長 殿 年 月 日

機関栄部企業名 _____

機関長は般線取扱 (職名處) _____ 印

下記券当機当社おの般線従事あるの証及貴業所東大
学ⅩⅥ中Ⅹラジオイメヂセタ)おの般線従事と承認致
ます

なお記券書事所おの般線従事はありの事わい申添す。

- (1) 放射線業務については、貴事業所の放射線取扱主任者の指示に従わせます。
- (2) 放射線業務の被ばく管理については、当機関において管理、記録及び保管を行い、有意な被ばくが認められた際には貴事業所に連絡します。
- (3) 当機関における被ばく歴、健康診断、教育訓練等について裏面に記します。

記

氏名	性 別	・男 ・女	身分 (職名)	生年 月日	(曆) 月 日
所属機関					
(機大宇釜 名)		(E L)			
(部専攻科 名)		(K X)			
(デゾ講座課 名)		(E m i)			
(証)【東栄属者証要】 〒					
東北学ⅩⅥラジオイメヂセタおの般線業わて					
作業験識者 も (○で囲)	・親経験し ・験あ		作業期間 【集越ないと】	年 月 日	から 年 月 日
放射線窓わて該当る (○で囲)【被可】			その他等		
使用場所	・Ⅹ中棟 ・Ⅹ棟 ・碗棟E棟) ・機廢翔龍		使用 する もの	・般線装置施器 ・性線源 ・βγ線機Ⅹ ・α線機Ⅹ ・機粉質 ・線塗器	

(裏)

1.携帯被ばい器具の名称を (○で囲)

種類 【複可】	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガスジ ・ オセバジ ・ 電波多線量 ・ その他) 	機能 <ul style="list-style-type: none"> 中程度が ・ 可 ・ 可
------------	---	--

2.被ばい歴線量算出日の最新日 (年 月 日)

期 間	実効線量	等 価 線 量		
		皮 膚	眼水晶体	腹部(子宮)
作業期間前 過去期	mSv	/	/	/
作業期間内	mSv	mSv	mSv	mSv

注作業期間内線量不明場合は「-」と記すと。

3.最新健康診断実施日(法定実施日)

実施	年 月 日	医機関 及び 医師	異常 の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有 ・ 無
----	-------	-----------------	-----------	--

注過去1年内実施健康診断を記すと

4.教育訓練実施状況(2) 実施日

教育訓練の種類	受講年月日
初め程度以内教育訓練	年 月 日
所機関の最新教育訓練	年 月 日
東北学オ中ロ C X C 資格課 ・ラゾオメダセタおほ 【明場台記不要】	年 月 日
備考	

注初め程度以内の教育訓練実施日は明欄に記すと